



東広会ニュース

4月号

2024年(令和6年)

Vol.212

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F東日本鉄道東京広告会
電話 03(5447)7928
E-MAIL info@tokokai.jp

第21回定期総会を開催

4月19日(金)16時30分より東日本鉄道東京広告会「第21回定期総会」が、池袋のホテルメトロポリタン3階富士の間において開催された。総会には加盟各社61社の代表が出席し、委任状59社とあわせて120社により各種議案が審議され、全て承認された。

総会には会員総数社のうち61社が出席し、委任状59社とあわせて120社により2023年度の事業・収支報告書、2024年度事業計画・予算案、2024年度理事・監事選任が審議され全て承認された。

総会の冒頭、赤石会長は「本日は年度初の大変お忙しい中、この東広会第21回定期総会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。JR東日本の広告が大きく賑わいを増してきた状況の中でこの総会を迎えること、大変嬉しく思っています。

JR東日本の首都圏の近距離はほぼビフォーコロナの状況に戻ってきているとありますが、首都圏の鉄道の

『第21回定期総会』

東日本鉄道東京広告会
2024年4月19日

定期総会で挨拶する赤石 良治会長



来賓を代表して挨拶する喜勢 陽一 東日本旅客鉄道(株)代表取締役社長

力は人々の生活、また東京自体の発展に大きく資するものであり、今後ともこのトレンドがさらに続くことを切に願うところであります。この間色々と厳しい中でありましたけれども、皆様のご協力の中で鉄道広告のさまざまな取り組みをして来たことが今の状況につながっているのだと思います。

この4月1日、首都圏の広告状況が変わる大きな取り組みがやっと開花したところであります。「Beyondメディア」ということでJR東日本グループの「Beyond Stations構想」に基づいて、最近では新宿駅、秋葉原駅において極めてイマーシブルな空間が出来まして、広告代理店の方々広告主の方々にも大

きく注目されております。

また「TRAIN TV」もこの4月1日からスタートしています。「電車の中のテレビ局」ということでこれまでのトレインチャンネルとは違う何かをやっているなど感じる方が多いということがデータとして出ています。

「TRAIN TV」はポジティブ、ネガティブ両方色々な意見があるのも確かですが、全般的には好意的な評価を得ております。厳しい状況にあった車内メディアの装いも新たにしたいということですからの飛躍につながればと考えています。

また電通の日本の広告費によると昨年の交通広告は対前年108.3%と、大きく伸びているインターネット広告よりも高い伸びを示したということ、新しいトレンドを今後も続けていきたいと思えます。お陰様で第1四半期は大きな需要があるようですし、これをどう続けるかが大事であり、これからも皆様方と一致協力してこのトレンドを更に広げていきたいと考えています。是非、この首都圏の持っている鉄道のポテンシャルを皆様方と一緒に高めていき、この壇上のメンバー全体で遂行して取り組んでまいります。」と挨拶した。

総会では東広会規約に基づき赤石会長が議長となり議案審議に入り、中村専務理事より各議案の説明が行われた。また2024年度の東広会役員の担当業務が報告された。

総会終了後、東日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長 喜勢 陽一様他の来賓を迎えて懇親会が行われた。

J企交通媒体局「2023年度年間売上」まとまる

J企交通媒体局の2023年度の年間売上は265億29百万円で、対前年112.6%となった。メディア別では、車両メディアは対前年114.3%で14億63百万円増、駅メディアは対前年107.3%で9億67百万円増となった。

■車両メディア(実績117億15百万円、対前年114.3%)

『中づり』『ステッカー』『車内デジタルサイネージ』は大口出稿が増加したこと等により上半期・下半期とも前年度を上回った。

『ADトレイン・車体広告』は、上半期は前年度を下回ったが、下半期は前年度を上回り、全体で前年度を上回った。

『まど上・ドア上』は、下半期は前年度を上回ったが、上半期は前年度を下回り、全体で前年度を下回った。『ドア横新B』は上半期・下半期ともに前年度を下回った。

昨年度に引き続き一部の商品を除いた全ユニット横断商品「フリープランニング」等の販売が実施された。

横須賀線・総武線快速にE235系新型車両が順次導入され、横須賀線・総武線快速で「トレインチャンネル」「まど上チャンネル」「サイドチャンネル」の放映が行われている。

■駅メディア(実績142億44百万円、対前年107.3%)

『駅ポスター』は、上半期・下半期ともに前年度を上回った。商品別では、「セット商品」「一般ポスター」ともに前年度を上回った。

『SPメディア』は、上半期・下半期ともに前年度を上回った。商品別では、「SPボード等」「イベント」「集中貼り」「自動改札ステッカー」ともに前年度を上回った。

『サインボード』は、下半期は前年度を上回ったが、上半期は前年度を下回り、全体で前年度を下回った。

『駅デジタルサイネージ』は、下半期は前年度を下回ったが、上半期は前年度を上回り、全体で前年度を上回った。

「Beyond Stations構想」に基づいて開発されたメディアとして2024年1月に「上野広小路口ビジョン」、2024年3月に「新宿BBB」の「BOX」「BLOCK」の放映が開始された。

<2023年度 媒体別売上実績>										(単位: 百万円)			
媒体		上半期				下半期				年間			
		2023年度	2022年度	前年比	増減	2023年度	2022年度	前年比	増減	2023年度	2022年度	前年比	増減
車両メディア	中づり	624	608	102.5%	15	1,003	800	125.4%	203	1,627	1,408	115.5%	218
	まど上・ドア上	420	458	91.8%	-38	538	516	104.2%	22	958	974	98.4%	-16
	ドア横新B	801	895	89.5%	-94	844	852	99.0%	-9	1,644	1,747	94.1%	-103
	ステッカー	669	521	128.3%	148	656	527	124.5%	129	1,325	1,048	126.4%	277
	ADトレイン・車体広告	313	318	98.5%	-5	605	480	126.0%	125	918	798	115.1%	120
	新幹線・ローカル・他社線	68	84	81.6%	-15	106	71	149.5%	35	174	154	112.7%	20
	車内デジタルサイネージ	1,881	1,618	116.3%	263	3,189	2,505	127.3%	683	5,069	4,123	123.0%	946
	計	4,775	4,501	106.1%	274	6,939	5,751	120.7%	1,189	11,715	10,252	114.3%	1,463
駅メディア	駅ポスター	536	500	107.0%	35	778	667	116.7%	111	1,313	1,167	112.5%	146
	SPメディア	1,230	1,005	122.3%	224	1,886	1,377	137.0%	509	3,116	2,382	130.8%	734
	サインボード	3,003	3,103	96.8%	-100	3,139	3,023	103.8%	116	6,143	6,127	100.3%	16
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	173	186	92.6%	-14	166	204	81.3%	-38	338	390	86.7%	-52
	駅デジタルサイネージ	1,567	1,434	109.3%	133	1,766	1,777	99.4%	-10	3,334	3,211	103.8%	123
	計	6,509	6,230	104.5%	279	7,735	7,047	109.8%	688	14,244	13,277	107.3%	967
	メディア計	11,284	10,731	105.2%	553	14,675	12,798	114.7%	1,877	25,959	23,529	110.3%	2,430
	その他(工事 他)	7	10	65.6%	-4	564	17	3231.0%	546	571	28	2053.7%	543
	総計	11,291	10,741	105.1%	549	15,239	12,816	118.9%	2,423	26,529	23,557	112.6%	2,972



挨拶する赤石良治(株)ジェイアール東日本企画代表取締役社長

「感謝のタベ2024」開催

「感謝のタベ2024」が、池袋のホテルメトロポリタンにおいて4月11日(木)18時00分から開催された。

この「感謝のタベ」は、J企で扱う各メディアの商品の販売に協力頂いている広告会社の方々の日々の販売努力に感謝して開催されている。会に先立ち主催者を代表して赤石良治(株)ジェイアール東日本企画代表取締役社長が挨拶を行った。懇談会では抽選会が行われ、参加者間において親睦と交流がはかられた。

2023年度版 「車両メディア共通指標推定モデル」を更新

「公益社団法人日本鉄道広告協会」「一般社団法人日本広告業協会」及び「関東交通広告協議会」の3団体で立ち上げた「交通広告共通指標推進プロジェクト」より2023年度版「車両メディア共通指標推定モデル」が発表された。今回発表された2023年度版「車両メディア共通指標推定モデル」は2015年度～2023年度の調査データを使用して策定されており、「中づり」「まど上」「ドア横」「ステッカー」「車内ビジョン」の5パターンの推定モデルになっている。

◇2023年度版「車両メディア共通指標推定モデル」について

今回発表された「車両メディア共通指標推定モデル」は、「中づり」「まど上」「ドア横」「ステッカー」「車内ビジョン」の5パターンのユニットの推定モデルである。

2023年度は2022年と同様に9月から10月に調査が行われ、1都3県在住の鉄道利用者300人（1素材あたり）を対象に「車両メディア」の広告効果についてインターネットによる調査を実施している。

この「車両メディア共通指標推定モデル」

「数量化一類」を用いて2015年度～2023年度に実施した調査データを使用して策定されており、最新の調査結果が加味されることにより調査素材数が増加し、より信頼性のある指標になっている。

なお「数量化一類」分析とは統計学的手法のひとつであり、目的変数（広告到達率）を複数の説明変数（サイズや掲出期間といったユニット属性や業種等）で説明するモデル式になっている。

この「車両メディア共通指標推定モデル」は、掲出期間やサイズ・業種等ユニットごとに複数の説明変数により構成されており、各ユニットの平均到達率に各カテゴリーの説明変数の条件を選定すればユニット別に「推定広告到達率」が算出できるものになっている。

る。

この「推定広告到達率」は、広告到達率に影響を与えるユニット属性や業種等の要素（カテゴリー）を数値化（カテゴリースコア）し、モデル式にあてはめて算出する推定値であり、「クリエイティブの到達率」を判断する基準値（ノーム値）となり、掲出する「ユニット」を選定する手がかりとして活用することが可能である。

さらに今回の発表に合わせて「交通広告共通指標調査から分かった『交通広告が与える印象・影響』『交通広告が商品購入のきっかけとなったと感じた理由』についての報告が行われた。

◇各ユニットの「交通広告共通指標推定モデル」（個人全体：男女15～59歳）

中づり

推定広告到達率 平均値 43.3%

1.分析広告数
186素材
(調査広告数 288)

2.説明変数
「サイズ」「掲出期間」「他鉄道への出稿」「TVCM出稿(直近1ヵ月)」
「業種」

※業種

・消費財系：「趣味・レジャー」「スポーツ用品」「医薬品・衛生用品」「化粧品・トイレタリー」「食品」「ファッション・アクセサリ」
・その他：「家電・AV機器」「自動車・輸送用機器・用品」「業務用機器・事務用品」「エネルギー」「原材料・建材」「金融・保険・証券」

サイズ	カテゴリー	カテゴリースコア
	シングル	-1.7
掲出期間	ワイド	+2.0
	2～3日	-3.5
	4～5日	-3.0
	7日	+2.3
他鉄道出稿	8日以上	+4.2
	有	+0.5
	無	-0.5
TVCM出稿	有	+2.7
	無	-1.4
業種	飲料・嗜好品	+0.4
	消費財系	-1.8
	官庁・教育・通信・サービス	+1.0
	観光・娯楽・外食	-1.5
	不動産・交通・放送	+4.0
	流通・小売業・商社	-0.2
	出版	+2.4
	その他	+0.6
	決定係数	0.62

まど上

推定広告到達率 平均値 44.9%

1.分析広告数
208素材
(調査広告数 322)

2.説明変数
「サイズ」「掲出期間」「他鉄道への出稿」「TVCM出稿(直近1ヵ月)」
「業種」

※業種

・消費財系：「趣味・レジャー」「スポーツ用品」「医薬品・衛生用品」「化粧品・トイレタリー」「食品」「ファッション・アクセサリ」
・その他：「家電・AV機器」「業務用機器・事務用品」「住宅設備機器・用品」「エネルギー」「原材料・建材」「金融・保険・証券」

サイズ	カテゴリー	カテゴリースコア
	シングル	-1.0
掲出期間	ワイド	+1.6
	ワイド2面	+2.0
	1週間	-6.5
	2週間	-0.1
他鉄道出稿	1ヵ月	+0.7
	1ヵ月以上	+1.7
	有	+1.6
TVCM出稿	無	-2.2
	有	+3.8
業種	飲料・嗜好品	+0.5
	学校・教育	-2.5
	官庁・通信・サービス	+1.9
	観光・娯楽・外食	-2.8
	不動産・交通	+1.8
	金融・保険・証券	+4.3
	その他	+0.2
	決定係数	0.57

ドア横

推定広告到達率 平均値 47.1%

1.分析広告数
113素材
(調査広告数165)

2.説明変数
「面数」「掲出期間」「他鉄道への出稿」「TVCM出稿(直近1ヵ月)」
「業種」

※業種

・消費財系：「趣味・レジャー」「スポーツ用品」「医薬品・衛生用品」「化粧品・トイレタリー」「食品」「飲料・嗜好品」「ファッション・アクセサリ」
・その他：「家電・AV機器」「業務用機器・事務用品」「エネルギー」「原材料・建材」「金融・保険・証券」「流通・小売業・商社」「カメラ・時計・精密機器」「出版」

面数	カテゴリー	カテゴリースコア
	1面	-0.4
掲出期間	2面	+0.3
	3面以上	+1.7
	1週間	-8.3
他鉄道出稿	1ヵ月	-0.3
	1ヵ月以上	+5.6
	有	+3.1
TVCM出稿	無	-3.5
	有	+0.9
業種	消費財系	-0.5
	学校・教育	+1.4
	官庁・通信・サービス	-2.2
	官庁・通信・サービス	+1.4
	不動産・観光・娯楽	-3.6
	その他	+2.3
	決定係数	0.67

ステッカー

推定広告到達率 平均値 42.7%

1.分析広告数
219素材
(調査広告数 294)

2.説明変数
「種類」「掲出期間」「他鉄道への出稿」「TVCM出稿(直近1ヵ月)」
「業種」

※業種

・消費財系：「趣味・レジャー」「スポーツ用品」「医薬品・衛生用品」「食品」「飲料・嗜好品」「ファッション・アクセサリ」
・その他：「家電・AV機器」「業務用機器・事務用品」「エネルギー」「原材料・建材」「金融・保険・証券」「流通・小売業・商社」「官公庁・各種団体」「通信販売」

種類	カテゴリー	カテゴリースコア
	ステッカー	-1.1
掲出期間	ツインステッカー	+2.8
	1ヵ月	-1.5
	1ヵ月以上	+3.7
他鉄道出稿	有	+1.9
	無	-2.6
TVCM出稿	有	+2.1
	無	-1.1
業種	化粧品・トイレタリー	-3.7
	消費財系	-1.1
	学校・教育	-5.0
	情報・通信	+0.1
	サービス	+5.3
	不動産・交通・観光・娯楽・放送	+1.3
	出版	-1.9
	その他	+2.2
	決定係数	0.62

車内ビジョン

推定広告到達率 平均値 38.8%

1.分析広告数
146素材
(調査広告数 229)

2.説明変数
「ロール分数」「掲出期間」「TVCM出稿(直近1ヵ月)」
「業種」

※業種

・消費財系：「趣味・レジャー」「スポーツ用品」「医薬品・衛生用品」「食品」
・その他：「家電・AV機器」「自動車・輸送用機器・用品」「カメラ・時計・精密機器」「業務用機器・事務用品」「住宅設備機器・用品」「エネルギー」「原材料・建材」「出版」「金融・保険・証券」「流通・小売業・商社」

ロール分数	カテゴリー	カテゴリースコア
	12分未満	+2.0
掲出期間	12分以上	-1.9
	1週間	-0.2
	1ヵ月	+0.4
TVCM出稿	有	+2.8
	無	-3.1
業種	飲料・嗜好品	+4.3
	化粧品・トイレタリー	-4.5
	消費財系	-3.4
	官庁・通信・サービス	+4.3
	不動産・交通・観光・娯楽	+5.8
	その他	-2.5
	決定係数	0.61

2024年度東広会役員名簿

第21回定期総会において承認された理事、監事による臨時理事会により、役員の役職、担当が左記のように承認された。

役職	氏名	社名	担当
会長	赤石 良治	(株)ジェイアール東日本企画	
副会長	滝 久雄	(株)NKB	総括
副会長	栗原 圭一	(株)ムサシノ広告社	広報
副会長	大塚 尚司	(株)オリコム	財務・総務全般
副会長	三池 元	(株)電通	媒体全般
専務理事	中村 歩	(株)ジェイアール東日本企画	
理事	神田橋 治	(株)TOMOE	総務担当
理事	杉本 公男	協立広告(株)	車両メディア担当
理事	藤原 卓行	(株)JTBコミュニケーションデザイン	車両メディア担当
理事	大村寿一郎	(株)弘垂社	車両メディア担当
理事	田草川 滋	(株)ニューアド社	駅メディア担当
理事	高橋 隆晃	(株)博報堂DYMメディアパートナーズ	駅メディア担当
理事	中村 晃	(株)日交	駅メディア担当
理事	望月 敏弘	(株)春光社	駅メディア担当
理事	稲川 一	(株)文宣	サイボード・安全担当
理事	中橋 光	(株)大晃	サイボード・安全担当
理事	関 学	(株)星広告	サイボード・安全担当
理事	高橋 源治	(株)共和企画	サイボード・安全担当
監事	石原 能郎	(株)東広	総務担当
監事	塩入 純夫	(株)日本スタデオ	車両メディア担当

第4回理事会を開催

2023年度第4回理事会が3月7日(木)にJ企会議室で開催された。

議案として

第1号議案 2023年度収支実績見込み(案)の件

第2号議案 2024年度予算並びに年会費(案)の件

第3号議案 第21回定期総会・懇親会開催概要の件

第4号議案 役員の異動に伴う選任の件

第5号議案 役員候補選任の件

が審議され、全て承認された。

主な審議内容は、

「2024年度年会費」は、コロナ禍前と同様の各種施策を展開することを前提とし、2023年度と同様の15万円とする。

「第21回定期総会・懇親会」は、4月19日(金)16時30分からホテルメトロポリタン(池袋)で開催する。

報告事項では

① 2023年度会員社数について 2023年4月1日現在 134社

2024年3月1日現在 134社

② 第40回ゴルフ大会の開催案内について

③ 年賀(名刺)広告の掲載について

④ 今後の主な会議・行事予定

が報告され了承された。

第4回総務委員会を開催

第4回総務委員会を3月4日(月)14時からJ企会議室で開催した。

議題として、3月7日開催の第4回理事

会に提議する議案審議が行われ了承された。

第5回理事会を開催

2023年度第5回理事会が4月4日(木)にJ企会議室で開催された。

議案として

第1号議案 2023年度収支実績報告(案)の件

第2号議案 2024年度収支予算案の件

第3号議案 第21回定期総会・懇親会の進行方の件

第4号議案 第21回定期総会に提出する議案(案)の件

第5号議案 臨時理事会資料(案)の件

が審議され承認された。

報告事項では

① 2024年度会員社数について 2024年4月1日現在 134社

② 第21回定期総会等の出欠回答状況について

③ 第40回ゴルフ大会の募集状況について

④ 今後の主な会議・行事予定

が報告され了承された。

2024年度第1回「事故防止会議」を開催

工事施工会社を対象に安全作業のための「事故防止会議(工事関係)」が、工事関係登録社、ジェイアール東日本企画、JR東日本メディアの関係者が出席して4月17日(水)にWEB会議で行われた。

「事故防止会議(工事関係)」においては、事故事例(他山の石)・安全パトロールの実施結果・ヒヤリハット等が報告され、参加者は安全に対する取り組みの大切さを再認識し、安全意識の向上を目指して活発な意見交換が行われた。

会員名簿変更

・代表者変更

トランス・コスモス(株)

(2023年4月1日付)

代表取締役共同社長 牟田 正明氏

代表取締役共同社長 神谷 健志氏

(株)マッキンゼーエリクソン

(2024年1月1日付)

取締役 瀬戸 宏明氏

(株)電通アドギア

代表取締役社長 岩井 大氏

(株)ブランドウ・ジャパン

(3月27日付)

代表取締役社長 大槻 厚氏

(株)JTBコミュニケーションデザイン

(4月1日付)

代表取締役社長執行役員 藤原 卓行氏

(株)メトロアドエージェンシー

(2月13日付)

・住所・連絡先変更

〒105-0021

東京都港区東新橋2-14-1

NBFコモディオ汐留9F

電話 03-5422-1794

FAX 03-6809-1568

事務局からのお知らせ

東広会から一斉メールを受信されるご担

当者を変更される会員各社さまは、東広会

事務局にご連絡ください。

※東広会事務局連絡先

(メールアドレス) info@tokokaip

(電話番号) 03-5447-7928